

令和 7 年度開南大学夏期中国語英語・台湾文化研修 報告書

熊本県立大学大学院 環境共生学研究科環境共生学専攻博士前期課程 2 年

森口 沙羅

本研修は 8 月 17 日から 8 月 31 日まで実施され、他大学の学生とともに寮生活や英語・中国語の授業、台湾各地への文化研修を通じて台湾についてより深く学ぶことを目的としたものである。

本研修では英語・中国語を選択することが可能であり、私は中国語の初級を選択した。右図のように、黒板やスライドを用いた授業で、先生が発音をした後に学生が発音を繰り返したり、先生が一人一人の発音を確認し助言をしたり、先生の「今日は何日でしょう。」という問いに対して中国語で返答するという内容であった。



最終日には中国語での自己紹介および英語クラスと中国語クラス合同で歌や劇の発表を実施した。中国語での自己紹介は名前・大学名・家族構成や趣味を話したが発音が難しく、先生に何度も訂正をされたが、無事に合格することができた。英語クラスと中国語クラス合同での発表では、「きらきら星」を中国語で歌って振り付けを付けて踊り、班の皆と協力して成功させることができ、中国語も覚える良い機会となった。他のクラスの発表では、中国語の数え歌披露や台湾の文化紹介、動画を作成しているところもあり、この研修に参加している全員が一体となって盛り上がる最終発表となった。



8 月 21 日(木)にはパイナップルケーキを作った。卵や砂糖などの材料を混ぜるところから調理を行い、生地はこねる際に空気を含ませるようにして混ぜる必要があったため、難しく感じていたが友人に助言をもらうことで上手く完成させることができた。また、焼いた後に食べてみると市販されているものと比較するとパサパサしていたが、味は美味しく、良い経験となった。



8 月 22 日(金)は午前中に授業が実施されたが午後は自由時間となっていたため、虎頭山という場所を訪れた。山を登るとお寺があり、細部まで装飾の施された建物を見ることができた。山は自然が豊かであり、亀や野生の台湾リス、フクロウなど様々な生物を観察した。



8 月 25 日(月)には十分老街に行き、ランタン打ち上げを行った。ランタンには筆で四方に願い事を書き、気球のように火を付けて空に打ち上げた。写真のように付近を 1 時間に 1 本の電車が通っているため、打ち上げたランタンとともに写真を撮ることで味のある写真を撮影することができた。お土産屋さんでは打ち上げたランタンと同じ形のお守りを購入した。



本研修への参加にあたり、中国語を初めて勉強することから単語や文法を覚えることができるか不安な気持ちがあったが、授業だけでなく文化交流を通して日常生活においても中国語を活用する機会があり、良い経験となった。この経験からより台湾に興味を持つことができた。